

会 議 録（要点記録）	
令和6年度 第1回和光市食育推進コンソーシアム会議	
開催年月日・召集時刻	令和6年7月9日 午後1時30分
開催場所	和光市健康増進センター2階多目的室
開 会 時 刻	午後1時30分
閉 会 時 刻	午後3時00分
出席委員	事務局
別紙1参照	健康部健康支援課長 浅井 里美 健康支援課主任 平原 麻美 健康支援課管理栄養士 大脇 理恵
欠席委員	
別紙1参照	
備 考	〈次第〉 1 開会 2 課長挨拶 3 構成員紹介 3 議事 「第三次和光市食育推進計画に基づく今年度の取組について」 ① 第三次和光市食育推進計画について ② 令和6年度実施事業について ③ 今年度の情報共有会について 4 閉会

発言者	
司会	それでは、定刻となりましたので、只今より第1回食育推進コンソーシアム会議を始めさせていただきます。 本日、司会をつとめさせていただきます、健康支援課 大脇と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 それでは次第に従いまして進行させていただきます。 開会にあたり、課長の浅井よりご挨拶申し上げます。 よろしくお願いします。
浅井課長	みなさま、こんにちは。4月に健康支援課課長に就任いたしました浅井と申します。よろしくお願いいたします。今回食育推進コンソーシアム会議でお話させていただくのは初めてのことですけれども、こちらにいらっしゃる皆様の中には、顔を合わせたことがある方や、ご協力をいただいている方々が大変多くいらっしゃって、心強く感じております。 さて、食育推進コンソーシアムについて、少し触れさせていただきます。こちらの会議は平成29年に発足し、当時は31か所の登録のみなさま、そして7か所の関係課でスタートしたと聞いております。令和6年6月末現在には、54か所の事業所・団体様、11か所の関係課まで成長いたしました。この成長は、皆様の積極的な活動の賜物であると理解しております。ありがとうございます。 この食育コンソーシアムは、年3回の会議や情報共有会を通じて、市の食育に関する現状や課題、各構成員の活動や取り組みを共有して、市民への健康情報等の周知など実践的な食育推進活動に取り組み、その中でわこう食育推進店の認定や、イベントへのご参加などの特色があると認識しております。 今年度の新たな取り組みとしては、コンソーシアムの皆様のご協力をいただきまして、夏休みに和食文化や農業、食文化について学ぶ、小学生向けのわこう食育おうえん隊講座を開催いたします。 食育推進コンソーシアムは、様々な事業者や機関が一体となって取り組んでおりますので、より多角的な視点で食育推進を展開し、みなさまとともに健康で活力ある食育推進を築いていくことに繋がっていると認識しております。今後ともよろしくお願いいたします。
司会	ありがとうございました。本日のご出欠はお手元のとおりとなっております。セブン-イレブン・ジャパン吉川様、池田物産の池田様よりご欠席のご連絡をいただいております。 次第の流れですと、自己紹介となっておりますが、後ほど構成員の皆様の食育の取り組みをお話いただくお時間を設けておりますの

平原	で、その際に併せて自己紹介をお願いいたします。 それでは、議事に入らせて頂きます。議事 1・2 について担当から説明をお願いします。 健康支援課の平原と申します。 本日は暑い中、皆様にお集まりいただき、誠にありがとうございます。気温が高い中での会議となりますが、皆様のご協力に大変感謝しております。 私からは、昨年度中間評価・見直しを行いました第三次食育推進計画について、また、今年度の取り組み予定などについてお話させていただきます。 第三次食育推進計画の中間見直しについては、昨年度末にも市民アンケートの結果などと併せてお話させていただきました。 アンケート結果や市の課題を踏まえながら、施策を 5 つに設定し、食育を推進していくことといたしました。 1 から 5 までありますが、施策 3 の部分に、食育推進コンソーシアムを指す「地域一体型の自然に健康になれる食環境づくり」を掲げさせていただきました。これは、1 の子どもの食育や 2 の健康寿命の延伸、4 の地産地消・食文化の継承、5 の食への理解など他の施策に横断的に取り組み、食育を進めていくものとなりました。 食育と一言に言っても、様々な切り口があります。 食育推進コンソーシアムは、構成員の皆様は様々な分野の方がいらっしゃいますので、様々な視点から一体的に、そしてより効果的に食育の取り組みを進めていきたいと考えております。地域全体で食にまつわる知識や意識が向上すること、そして、健康的な食習慣やフードロス削減・食文化の継承など持続可能な食生活が促進されるよう、進めてまいります。 施策と事業展開については、赤枠で囲んである内容について、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。 地域食育イベントの実施、食育認定マークの掲示、健康無関心層への啓発、わこう食育推進店の登録拡大を目標に進めてまいります。 続きまして 2、今年度の食育取り組みについてに入らせていただきます。 平成 31 年から推進している減塩・減糖・減脂の食育認定マーク掲示の推進ですが、現在、イトーヨーカ堂和光店様、いなげや和光新倉店様にご協力いただいております。おかげ様で認知度も少しずつ上がってきており、皆様の周知のご協力が数字に繋がってきているものと思います。先日より、野菜 70 g を仕様したお惣菜においてはちょこっとプラス野菜のマーク、カットフルーツなど果物 100 g の商品にはちょこっとプラス果物のマークを掲示しております。
-----------	---

昨年アンケートにて、和光市民の野菜摂取量の少なさ、そして 1 日 1 回、果物を食べている層の少なさから、このような取り組みを進める運びとなりました。減塩・減糖・減脂と、減らすだけではなく、野菜・果物を足していくことが伝わっていけばと考えております。

認定マークの掲示については、地域活動栄養士会えぶろんさんに今年もご協力をいただいております。ちょうど先週に確認作業をしていただきましたが、たくさんの品数を、1 品 1 品丁寧に確認していただき、長時間にわたる作業をありがとうございました。

続きまして、6 月の食育月間にご協力いただいたちょこっとプラスポップの掲示についてご説明します。

昨年度はコンビニエンスストアでの展開でしたが、今年はスーパーマーケットでも掲示していただきました。

コンビニエンスストア等で取り扱っているサラダや野菜のお惣菜がおおよそ 100 g ほどであることから、おにぎりのみ、サンドイッチのみのお買い物に加えて、野菜商品を 1 品購入していただくことで、少しでも野菜の摂取量を増やしてほしいという目的になります。

ご協力いただきありがとうございました。

6 月 22 日、イトーヨーカ堂和光店様・セブン - イレブンジャパン様にお声がけいただき、彩の国フェアに食育推進コンソーシアムとして参加いたしました。

食育クイズや熱中症クイズを行ったり、わこうっち体操、食育推進店マップを作成し、コンソーシアムの周知を行いました。

健康ブースでは、ぽけっとさんの健康相談、大塚食品さんの塩分チェック、ベジチェックなどを行ってました。のちほどイトーヨーカドー様、セブンイレブンジャパン様、ぽけっと様からもお話を伺えればと思います。

「わこう食育おうえん隊講座」を夏休みの期間に開催します。

こちらは昨年での共有会での皆様からのご意見を参考にさせていただいた講座になります。

全 3 回の講座で第 1 回は池田物産池田やさんによるおだし講座です。児童が和食文化について学び、実習をする講座となっております。

第 2 回は和光の農業について、実際に農業に携わる方からお話を聞いて、和光市の野菜を試食するというものです。こちらは埼玉研有会様をお願いしております。

第 3 回は、和光市の食文化について、食文化研究会の加藤様に講師をお願いしております。

共有会でもお話に出た、「朝まんじゅう、昼うどん、夜は残りのごちやごちやうどん」をメニューにして、子どもたちも自分で作ったお

司会	まんじゅうを食べ、食文化を学んでもらう講座となっております。こちらの講座は来年度も補助金を活用しながら実施していき、コンソーシアム会議の中でテーマなども決めて行けたらと考えております。 最後に、新規ご加入された店舗様のご紹介です。 まだ加入までは進んでおりませんが、ヤオコー2 店舗様もご加入の予定で動いております。 最後になりますが、皆様にご覧がございます。 今年度のヘルスサポーター講座についてですが、開催について少し変更しまして、平日開催で2日間といたしました。対象は市内在住・在勤の方、2日間とも出られる方を募集しております。また、応用講座の法は11月16日土曜の午前中に開催予定で、認知症、認知症サポーター養成講座、ゲートキーパー講座というものが受けられます。ヘルスサポーターの基礎講座などを受けていない方でもどなたでもですので、そちらがご興味ある方はぜひ応募していただけたらと思います。 ここまでのところでご質問等ありますでしょうか？（5分） 継続取組案、新規取組案についてこの内容で進めてよろしいでしょうか。 ご提案等がありましたらお願いいたします。 続きまして、資料2にあります食育推進店・構成員様取組のご紹介に入らせていただきます。皆様の食の取り組みについて、おひとり様ずつご紹介いただけますでしょうか。順番は、出欠表のとおりとなっております。 まず、セブン-イレブン和光新倉店 岡崎店長、どうぞよろしくお願い申し上げます。
セブン-イレブン 和光新倉店 岡崎 様	こんにちは。私、セブン-イレブン和光新倉店と申しまして、北原小学校の近くで昭和61年から商売をしております。商工会の方でも、和光市役所の皆様にご協力をいただきましてありがとうございます。この場を借りてお礼を申し上げます。 私の店では年配のお客様が結構おられますので、カップデリという20種類くらいの野菜商品があり、お弁当を買われたりするときに、野菜を取るといいですよと言葉をプラスしてお買い上げいただくようにしてしまして、少しでも野菜を摂取していただきたいなと思っております。 これからまた職員の方や今日お集まりの皆様と一緒に食育を頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。私からは以上です。

ファミリーマート 泉様	本日はありがとうございます。ファミリーマート埼玉リージョンの泉と申します。 ファミリーマートではフードドライブというものをやっております、こちらの資料には埼玉県内で 170 店舗と書いてありますが、最新のデータですと 296 店舗まで拡大しております。これは、ご家庭内で余った食品があると思います。野菜や生ものは駄目なのですが、お菓子とか乾物については店舗でボックスを設置して、お客様の方から家庭内ででたもったいない食品を寄贈していただいております。それを、別で契約している協力パートナーの人たちに回収していただき、子ども食堂とかフードバンクなど食品が必要な方たちに活用していただいているところです。 ただ、和光市内では実際やっているお店が 1 店舗もございません。お店としては、どうしても協力パートナー・協力会社が必要なものですから、パートナー探しをしておりますので、ぜひともファミリーマートと一緒にやりたいという方がいらっしゃいましたら、手を挙げていただいてご協力をお願いしたいと思っております。 (複数名手上げ) ありがとうございます。後ほどお話をさせていただき、どんどん進めていきたいと思えます。和光市内ではやっていないのですが、朝霞市や新座市など周辺ではやっておりますので、その周辺のファミリーマートにお立ち寄りいただきまして、ちょっと見ていただくと参考になるんじゃないかと思えます。どんどん地域にも広げていきたいと思っておりますので、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。
司会	ありがとうございます。続きましてイトーヨーカドー正親様、お願いいたします。
イトーヨーカドー 和光店 正親様	ただいまご紹介にあずかりました正親です。本日はありがとうございます。先月の 6 月 22 日に第 2 回目となる彩の国フェアというものをさせていただきまして、和光店の取り組みとして、和光市役所さん、それからセブン・イレブンさんのご協力をいただき、柴崎市長にも来ていただきました。今回のテーマは、熱中症予防ということで、大塚食品さんにもご協力いただき実施させていただきました。今後もこういう取り組みを進めて継続して行っていきたいと思えますので、ぜひご協力をお願いいたします。
司会	ありがとうございます。続きまして株式会社ベルク様、お願いいたします。

ベルク 鈴木様	株式会社ベルクの鈴木と申します。ベルクは1都6県で展開しております、今年の6月で138店舗になりました。 私の部署は、食品管理室と言いまして、3人という少ない人数の部署で、まず食育事業というものをしております。対象は、高学年向けと小学3年生、保育園や幼稚園の年長さん向けに事業を行っています。 内容は、高学年では、SDGsという取り組みについて、フードチェーンの中でどれだけ食品ロスが行われているのかということを提示し、そこを考えていただくような内容になっております。 小学3年生は、授業のカリキュラムで店内見学というものがあるのですが、そこを少し組み合わせて三食食品群など説明をしています。また、店舗に直接来ることができない学校様のためにオンラインプログラムを用意しております、コロナ渦がきっかけでそのようなプログラムができました。直接店舗で体験というよりも、オンラインで手軽にと希望される学校様もいらっしゃる、コロナ渦全盛期よりは半分ほどに落ち着いたのですが、オンラインでも食育事業をしております。 幼稚園年長さんに関しては、3食食品群などの簡単な食育の授業と、店舗に行って野菜コーナーの見学をしたりしています。そのほかに、工場見学や農業体験をベルクと取引のある企業さんと一緒に取り組みをして一緒に開催をしております。 食環境の整備ということで、女子栄養大学と共同で月1回健康に配慮したお弁当を作っています。ここにスマートミールの認証を受けたお弁当が載っておりますけれども、数量限定発売ですが、こういった取り組みをしております。
司会	ありがとうございます。続きまして和光市農業後継者倶楽部様、お願いいたします。
和光農業後継者倶楽部 田中様	こんにちは。和光農業後継者倶楽部の田中です。今回は代理で来たので、本来ですと私は来年からよろしくお願ひします。活動といたしましては、幼稚園や保育園を対象とした景観事業で、コスモスの栽培と摘み取りをしています。ちょうど芋堀りが先月で、コスモスの種まきが来月、かなり熱い中での作業なので、健康と反している状態で、結構大変な思いをして作業しています。個人の取り組みとしては、アグリパークの農業講師をして、初心者を対象に講座をしていたり、和光高校で家庭科の授業で夏野菜の栽培を指導しています。少ないですが以上です。
司会	ありがとうございます。続きまして、食文化研究会、加藤洋子様

食文化研究会 加藤様	お願いいたします。 食文化の加藤と申します。先日食文化研究会 25 周年記念をやりました。もう 25 年もやってるので、一言では言えないですが、伝統の食文化を次の世代に伝えていきたいと思いますという活動です。 幼稚園から大学までそれから東京農大の木村先生とタイアップしてとにかくいろんな方へ行きました。私が今一番思うことは、食文化を継承するっていうことはただ食事について、昔はこんなのを食べてたよって教えるだけじゃなくて、和光市の風習や歴史とかも全て教える必要があると思います。それでコミュニケーションをとるのが食事には一番なんです。食育って言っても栄養とかありますが、やっぱりみんなで自分たちの作った食事を一緒に食べるっていうのが一番コミュニケーションが取れて食育だになってというのが 25 年間の感想です。 伝統食の食材から全部畑で作っていましたが、大豆・菜の花で油を作ったり、おそばを作っておそばを打ったりとか、パンの粉から全部何でもやっていましたが、生産緑地がだんだんなくなってしまって、維持するのが難しく、畑ができなくて残念です。 とにかく伝統食の一番大切なのはお味噌だと思います。子供たちとお味噌を作って食べる、そういうのをぜひ健康支援課でやっていただきたいなと思います。以上です。
司会 えぷろん中辻様	ありがとうございました。続きまして朝霞保健所管内地域活動栄養士会えぷろん中辻様、よろしくお願いいたします。 ただいまご紹介いただきました朝霞保健所管内地域活動栄養士会の中辻と申します。コンソーシアム会員の取組について気づきとやりがいについてお話をすることだったので、先日例会があり、皆さんの意見をまとめてまいりましたので、読ませていただきます。 食育推進店のイトーヨーカ堂様に 7 月 3 日に行き、293 品目、それからいなげや様では 238 品目、食育認定マークをつけさせていただきました。商品の入れ替え時期に食育認定マークを年 2 回実施させていただいています。作業を行っている上で気づいたことですが、皆様のご意見を簡単にまとめさせていただきました。一つ目に、同じような商品が同じ棚にあるととてもやりやすかったとのことでした。 それから棚ではなく、吊るしてある商品にはつけようがないので、気になるというご意見がありました。また、今は前面表示の商品がたくさんあり、やりやすいのですが、たまに裏面で小さな字で書い

司会 パパピニョル安田様	てあるものはとても苦勞しました。 前回の会議でいただいた資料で和光の食育推進店を知っている人が令和元年では 16.4%でしたが、令和 5 年度では 25.1%と 8.7%も増加しています。それからは和光の食育認定マークを知っている人が令和 5 年では 27.7%と 15.5%増加ということです。食育認定マークを知っている小学生中学生がいらしたので感激しました。これは日頃いろいろイベントをなさったりして効果があったのかなと感じました。 現在取り組んでいる、えぷろんとしての事業だけを申し上げますと、保健所からの依頼で毎年国民健康栄養調査に協力しています。また新座市からの依頼では、食育活動エプロンシアターを保育所、幼稚園、子育て支援センターなどで行わせていただいています。また、新座市の健康祭りにも参加させていただいております。朝霞市からの依頼では、学校給食委員会に代表 1 名が出席させていただいております。その他、高齢者高齢者の男性の料理教室、それから健康栄養相談、あとは個人的にはいろいろ学校の講師を受けています。以上です。ありがとうございました。 続きまして、パパピニョル安田様、お願いいたします。 こんにちは、北口でアーモンドアンドナッツスイーツ専門店をしています。パパピニョルというお店をしています安田と申します。ちょうど今年 5 月で、何とか 10 周年を迎えることができました。同時に食育コンソーシアムに入ってそれなりに時間が経ち、食育応援のお店として新しくできた制度に認定されて、私も胸を張って食育コンソーシアムに入っていると言えるようになって嬉しいです。減塩・減糖・減脂っていうと、お菓子屋さんなのでなかなか今までそれに達することができなかったのですが、食育応援の店として子供たちにナッツやアーモンドの健康効果もありますので、美味しさと笑顔が届けられるような、そういった部分で食育の活動ができたらなと思います。 うちの取り組みとして、ここに書いてあるスイーツのレシピで今年はイトーヨーカ堂のバレンタイン時期にナッツのブラウニーレシピを作らせていただきました。また次回も提案させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。 お店ではアーモンドとナッツの健康本や栄養の冊子を置いております。私がアーモンド博士と呼ばせていただいている人の本もお店に置いてますので、ぜひ見に来てください。 先日のこの食育コンソーシアム会議を通じて社協の横田さんが声を
-------------------------	--

司会	かけてくださって、野菜販売会でお店の和光ブランドのワッカを、販売していただきましてありがとうございました。この会議を通じていろいろこれからもできるといいなと思って、とてもわくわくしております。よろしくお願いいたします。 ありがとうございました。続きまして NPO 法人ぽけっとステーション山口様、お願いいたします。
ぽけっと 山口 様・野島様	ぽけっとステーションの山口です。野島です。西大和団地の中に栄養ケアステーションをやっております。そちらでサロンを行っており、食事について相談を受けたりとか、デモンストレーションで料理を作ったりしていますが、キッチンがないので今年からコロナも5類になったので、中央公民館の調理室を借りまして、まちかどクッキングをいたしました。やっぱり皆さん作って食べるっていうのがとても好評です。 ほかにコラボとして、6月22日のイトーヨーカ堂さんの2階で健康増進センターさんと一緒に栄養相談を行いました。6月30日にわびあいイベントがありまして、8月で期限が切れてしまうアルファ化米がもったいないので、200g ずつ小分けにして、そこにレシピをつけて、アルファ化米を美味しくなるということを紹介させていただきました。 ベルクさんの方で月1回まちかど健康相談室を行っており、「出張何でも相談」を地区社協さんや包括さん一緒にやっております。また社協さんとコラボしまして障害者さんとその家族の方に対して、クッキングっていうものを全3回、先日1回目を行いました。また、えぷろんの活動としては私の方がお邪魔しまして石川県の災害の話をさせていただきました。ぜひいろんなところコラボし、いろんなところに行ったりしているのでよろしくお願いいたします。
司会 北地域包括 谷場 様	ありがとうございました。続きまして北地域包括支援センター谷場様、よろしくお願いいたします。 新倉小学校前にあります北地域包括支援センターの谷場と申します、よろしくお願いいたします。包括の方では利用者様を訪問させていただいて食事で手助けが必要だった方に、訪問栄養指導の方のご提案だとか、体力があって歩いている方にはまちかど健康広場の紹介をさせていただいております。配食サービスの提供しております。専門家の方に相談をしっかり繋げていくっていうところを意識してこれからも仕事をしていきたいと思っていますのでお願いいたします。以上になります。
司会	ありがとうございました。続きまして北地域第二包括支援センター

北第二包括 本田様	本田様、お願いいたします。 北地域第二包括支援センターの本田です。私達は高齢者の方のケアマネージャーを普段行っています。対象となるのは要支援の方と要支援になる手前の方、総合事業対象者というんですけど、その方のプランを立てています。大体皆さん疾患があるので糖尿病とか高血圧とか心臓病がありますので、ポケットステーションさんに個別に訪問していただいて栄養指導をお願いしています。導入したら半年後に評価を利用者さんと一緒に考えています。以上です。
司会	ありがとうございます。続きまして中央地域包括支援センター山口様、お願いします。
中央地域包括 山口様	よろしくお願いします。本町を担当しております、中央地域包括支援センターの山口と申します。包括支援センターの働きについては今いろいろお話していただいたので基本的には同じになるけれども、単純に腎機能が低下してるだけ、糖尿病など病気だけお持ちで体は元気、介護状態ではないっていう方の相談があったり、あとはまちかど健康広場さんから情報を得て連絡が来たりする方もいらっしゃると思います。その場合はもちろん病院に制限を確認した上でお話を進めていきますが、こちらの方でも栄養状態とか、検査データを確認した上で、一般的にたんぱく質が多いとよくないよとか、フレイル予防のためのおすすめの食材をパンフレットや、数字で提示してお話するようにしています。 終わった後も継続する必要があるのでその場合にはアセスメントを続けてモニタリングという形で包括は介入させていただいてますが、なかなか改善しない方もやっぱりいらっしゃるるのでその際には電話で栄養士に経過を伝え、ボランティア的な形でやらせてもらっています。やはりご家族の協力が高齢者の方に必要になってくるので、ご家族にもフレイル予防や栄養が大事だっていうのを改めて説明させていただいて、ちょっとした栄養補助食品であれば、ドクターの指示の下で、写真等提示してこれを買ってきてくださいっていうことをやっています。 サービスに繋がらない場合、例えば入口に私達が介入したり、窓口で調整ができるのが一番ベストなので、職員間でも栄養の必要性など、ある程度のところはお互いに勉強し合って情報共有させていただいています。統一した対応で住民の方々が健康にできるようにさせていただけたらというところです。よろしくお願いします。以上です。
司会	ありがとうございます。続きまして統合型地域包括支援センター

統合型包括 様	銅城様	銅城様、お願いいたします。 統合型地域包括支援センターです。統合型ということで、高齢部門の方からの中央第一包括センターと障害部門は中央地域生活支援センターで、困窮部分で仕事相談センター、中央子育て世代包括支援センターの4分野が全部一つの場所になっているセンターになります。高齢の分野に関しては先ほど説明していただいた内容で地域でやらせていただいています。 子供の方の部門に関しては、この後お話がある南や北子育て支援センターさんと違って、放課後にお子様が来て遊ぶとかイベントをやるようなスペースはなく、相談のみの機能をもったセンターになりますので、逆にここにいらっしゃってる皆さんたちのいろんなお力を借りたりとかご紹介をさせていただいて、地域の方と繋がっていききたいなと思っていますので、ぜひいろいろご協力をお願いしたいと思います。
司会		ありがとうございます。続きまして南地域包括支援センターの山本様、お願いいたします。
南地域包括 様	山本様	南地域包括支援センターの山本です。よろしくお願いいたします。今までお話していただいたので内容的には変わらないのですが、違う点ではフードバンクはございますので、寄付していただく方がいらっしゃればコンソの方でご紹介できます。
司会		続きまして、北子育て世代総括支援センター青山様、お願いいたします。
北子育て	青山様	北子育て世代包括支援センターの青山です。どうぞよろしくお願いいたします。当センターでは0歳から5歳児向けのフリーで色々な相談ができる施設です。その中で昨年度0歳向けに保育センターの管理栄養士さんと、かつおぶしの池田屋さんのお力をお借りしまして離乳食の進め方や、だしのとり方など進めてまいりました。 前年度には1・2歳児向けにも同じようなことをしています。また館内では市内の保育施設の献立表やレシピの掲示をして、ママたちが簡単に栄養を取れるような工夫をして掲示しています。このような機会以外にも遊びに来た人たちが気軽に食事の相談をしやすい雰囲気を作りながら接しております。以上です。
司会		ありがとうございます。続きまして南子育て世代包括支援センター大内様、お願いいたします。
南子育て包括 内様	大内様	こんにちは南子育て世代包括支援センターの大内です。スライドに4つの写真を載せていただいたのが、昨年度の事業になっておりま

司会	す。 子供たちが土に触れて、農作の人参やジャガイモ掘りをする体験だったり、同じ法人内に保育園がありまして、保育園の栄養士に来てもらって、話をしながら、保育園の簡単なおやつを作り、試食を行いました。 またその他にお母さん方がよく気にされている離乳食の進め方などに少しでもお手伝いできたらなと思ひまして、市内の保育センターの管理栄養士さんにご協力いただいて、市内の保育施設の離乳食と行事食を掲示させていただいております。その他、離乳食の量もわかりやすい資料を掲示しております。 センターでは母子手帳交付から小学校前までのお子さんと親子が遊びに来る施設になっておりますので、少しでも子供たちがたくさん食べていっぱい体を動かすことができるよう毎日過ごしております。どうぞよろしくお願いいたします。 ありがとうございました。続きまして和光市くらし仕事相談センター小林様、お願いいたします。
くらし仕事 小林様	私の方は高齢者や生活保護の就労準備を主としております。実際、高齢者の男性は特に調理が苦手な方がいらっしゃると思いますので、一緒に料理をしています。場合によってはフードバンクのご提供させていただいています。以上です。
司会 高齢者福祉 横田様	ありがとうございました。続きまして、高齢者福祉センターゆうゆう、横田様お願いいたします。 総合福祉会館 2 階にあります高齢者福祉センターの横田と申します。 高齢者福祉センターでは、先ほどパパピニョルの安田さんにご紹介いただきました野菜販売会を、市内の農家さんのご協力で行っており、朝採れ野菜を安い値段で業者さんにご提供していただく機会があります。その際は野菜だけでなく野菜以外のものもということで今回はパパピニョルさんでした。 高齢者センターでは 60 歳以上の市民の方が自由に集い、健康増進や教養向上を目的とした施設でございます。中に調理室はないですが、同じ館内 3 階の地域福祉センターがあり、そこには調理室があるので、うちの利用者関係で利用される方も多いので、そういったサークルのお手伝いもしております。独居高齢者の方が集まって、お昼ご飯を食べたりしております。あと不定期で色々な行事をやっており、去年の 1 年前のこの時期は夏バテ防止のために胡瓜・トマ

司会 児童センター 大野様	ト・豆腐などを使ったレシピをご提案しています。今年は今計画中で、災害時でも災害食を美味しく食べられるような講座をやろうかなと思っております。 ありがとうございました。続きまして、総合児童センター大野様、お願いいたします。 総合児童センター大野と申します。今年で言う地域食堂を連携していきまして、先ほどご案内がありました6月のイベント実施にご協力いただいて、啓発活動を行いました。 ゆうゆうさんとは逆で、児童センターは0歳から18歳の子供とその保護者の方が対象とした施設です。直接の事業としてはやっていなく、子育て支援が中心ですが、昨年度では親子で20万人の利用がある施設で、皆さんと連携しながら啓発活動を行えると考えておりますので、引き続きよろしく申し上げます。
司会 明治安田 鈴木様	ファミリーマートさんぜひフードバンクのお話させてください。 ありがとうございました。続きまして、明治安田生命池袋支社鈴木様、お願いいたします。 こんにちは。明治安田生命 鈴木と申します。私どもは和光市様含めまして6自治体様と、いわゆる健康に関する連携協定というものを締結させていただいております。 今年度もいろんなイベントを開催しており、和光市様からは今回の食育に関するセミナーを検討したいという申し出を受けております。 今依頼があるのが北区さんから依頼されておりまして、対象は一般の方で、時間は2時から4時で、その前後にベジチェック測定を入れて、ただセミナーでいわゆる野菜の良さをすすめるだけでなく、本当に今自分の野菜の充足度がどれぐらいなのかということを知っていただく、そういった取り組みをさせていただいております。 健康診断結果で、ベジチェックだけではなく、血管年齢測定や脳年齢チェックなどの測定を私どもの方で行きまして、測定機を出したり、そのほか例えば10名～20名で、30分～45分というようなセミナーもやらせていただいております。 今年度はそういった開催を和光市さんの方で連携させていただきたいと思っております。以上でございます。 ありがとうございました。続きまして、一般社団法人YY企画石田様本橋様、お願いいたします。

YY 企画 石田様・ 本橋様	改めましてこんにちは。地域交流ひまわりとウェルカム事業をやっております石田と本橋です。あともう 1 つチームオレンジひまわりですが、そちらの方は 1 年前に発足されまして、ウェルカム事業の方は 8 年前発足しました。 まずは本橋からウェルカム事業について説明いたします。ウェルカム事業というのは地域の高齢者で介護にならないために元気を維持するというような活動でして、これは 67 歳から 90 歳の方が通っております。元気を維持するにはどういう活動をしているかということと音楽や制作、体操そして食育、これらを通して皆さんの元気を維持してもらい、介護にならないために、これからもより長く元気でいてもらうという活動をしております。 今年で 8 年目になりまして、今最高齢の方が 91 歳の方がおりまして、8 年通っている方です。初めに来たときから元気を維持していると私達は思っております。そこではウェルカム事業を行った事業もあり、チームオレンジひまわりといいまして、認知症の方を支える事業をやっております。地域で暮らす認知症やその家族が安心して同じ場所で暮らしていただくために、地域の方と認知症サポーターを結びつけながら皆さんで認知症の方を支えていきたいと思いますというような活動をしております。 登録メンバーが 28 名おりまして、先ほど安田生命さんからお話があった測定会を、ぜひそこでもやっていただければと思っておりますので、後でのご挨拶させていただければと思っております。 次に食育に関してです。食育担当の石田です。8 年前にウェルカム事業のひまわりを発足しました。その当時何が一番大事なかなと思ったときに、共通していることは若い人から年齢の高い人まで、男性も女性も食、食育、食えることです。それをモットーにと思ひまして皆さんの気持ちをつかむには胃袋をつかもうと思ひました。オープンのとこから毎回私の美味しい手料理を皆さんに一口ずつ食べていただくというのが定例でした。おかげさまで皆さんにとっても喜んでいただいて、これはどうやって作るの？これはどうなんだろう？なんて言いながら食に対してすごく意欲的になってきています。特に地産地消、先ほど後継者倶楽部の方がおっしゃってましたように和光市の農業がとても頑張っているんで、そういったところも応援したいと思ひますので、私の畑もそうですが、そこで採れた朝採れの野菜を使って、月 6 回のウェルカム事業の中で皆さんに提供しておりました。5 年間ほどコロナなどで抜けてしまいましたが、また今年の 4 月から始めております。 先ほど本橋が言ひましたが、ウェルカム事業に関しては定員が 20 名
---------------------------	---

司会 長寿あんしん課 沖	です。ところがおかげさまで評判がよく、今や 30 人近くになり、今日も行いましたが、26 名の参加でした。皆さん最後に私のレンチン料理を喜んで食べて、今日帰ってからこのレシピで作ってみるとおっしゃっていました。先週の金曜日はあまりにも人数が多いので坂下公民館の調理室を借りまして、調理実習を 76 歳から 91 歳までの方と一緒に、全部で 22 名が参加し、その中で三つのテーブルに分けて作っていただいたところ、その日のメニューは夏野菜たっぷりそうめんとじゃが芋のガレットで、テーブルの上にそのメニューの工程を書いておきますと、それぞれが自由に作りますが、最終的には形は同じになり大変喜んで帰られました。 改めて食ってすごい大事なことなんだな、生きていく中で一番大事なんじゃないかなって、それと皆さんとコミュニケーションをとり、食べながら作りながら笑い、それがいかに大事かなってこのたびの調理実習を大々的にやった中で感じました。何よりもうちは手前味噌ですが、これだけ参加者が多いというのは午前中の開催で 9 時半から 11 時半で、終わる間際に料理を出し、そうすると皆さん手料理がなければ早く帰りたいと思うのですが、ところがちょっと一口食べることによって美味しかったなって余裕ができて、また来週も来ようってことになるんです。ご清聴ありがとうございました。以上でございます。 ありがとうございます。最後に和光市各課の皆さんから一言ずつお願いいたします。 長寿あんしん課地域支援事業担当の沖と申します。長寿あんしん課の事業に多く携わっていただいている方も多くいらっしゃり、いつもありがとうございます。それぞれ皆さん事業の中で食に関することを紹介いただいておりますが、課の担当で直接食というわけではないのですがフレイル予防についてちょい足し事業というものを昨年度から実施をしております。運動・栄養・社会参加、この三つがフレイルにとっても重要と言われておりまして、今の地域の自主団体さんに向けて、それぞれ今メインで活動をしているものに一つ要素を足していただくということで、大体運動を取り入れているところが多いのですが、そこに食の要素を取り入れた活動をしたり、あとは今重要と言われている口腔について取り入れるということで、それぞれの機能を上げていく、というようなものを行っております。昨年度は研究的に 1 年間実施をした結果、食の部分で、行動変化として見られたのが、食品摂取の多様性スコアが増加がみられたということが効果として挙げられています。まだまだ始まったばかりの事業ですので、継続して効果を見られていければいいなと思
--------------------------------	--

司会	っております。今後ともよろしくお願いいたします。 ありがとうございます。
危機管理室 長谷	私は危機管理室の長谷と申しますどうぞよろしくお願いいたします。危機管理室は文字通り防災に関する部署になっておりまして、主に防災食、備蓄食料に関しての事業を行っております。これまでは我々の方ではですね、イベント等などでビスケット等の配布のみを行っていたところなんですけれども、令和2年頃から食品ロスの観点を考慮して、期限が近い一部の配布事業などを行ってまいりました。今年度以降はよりステップアップしていきたいというところで、防災食を先ほどのぽけっとステーションさんのお話が上がっていたんですけれども、白米の美味しい食べ方や、備蓄のビスケットの美味しい食べ方などを食育に関連づけた事業を市の管理栄養士さんの方々と一緒に連携をとってやってまいりたいと考えていきたいと思っております。以上です。
市民活動推進課 磯田	市役所の市民活動推進課の磯田と申します。私のところでは相談消費者担当として消費者啓発の取り組みを行っている部署でして、食育に関するところでは、1人1人が消費者としてどういう食品を選ぶか、SDGsに配慮している食べ物を選んでいるか、そういったところを消費者として考えて買おうという啓発もしており、子供向けのパンフレットにそういった内容が載せてあり、そういったものを配ったり、私どもが啓発してるっていうところが、食育に関する仕事です。今度の食育の講座でこのパンフレットをお子様たちに配っていただけるということで、事務局の方にお渡しさせていただいて、今後もこういった活動をしていきたいなとか、担当として思っております。
障害福祉課 漆間	障害福祉課の漆間と申します。障害福祉課は障害をお持ちの方から支援や、サービスを受ける入口のお手伝いをする事が多い部署になっております。市内の事業者さんでは、飲食物の作成販売をし、就労支援を行って食を通した生活支援などを行っておりますが、障害福祉課の方で食を通した主催の事業というのはまだ持っていないので、この会議を通して皆さんの事例を伺い、何か取り組めることを探していけたらなと思っております。
学校教育課 小林	学校教育課の小林と申します。学校教育課なので子供たちに出している給食や学校を通してのことが多いのですが、今までお話をいただいた地域でこんなに活動してくださっている方がいらっしゃるんだっていうことを私も初めて知りました。 市内小中学校が12校あってそこに栄養士さんが1人ずついらっしゃる

保育施設課 遠藤	やるので、そういう方にも知っていただいて何か一緒に取り組めることがあるのであればいいのかなというふうに感じました。学校教育課で今年の食に関しての取り組みは、レシピ集で今年度のテーマを世界の料理ということで栄養士さんの方から出していただいて、ホームページの方に掲載をさせていただく予定です。あと7月から始まっているのですが、地元の農家さんにご協力いただいてトウモロコシの小学生の皮むき体験とか米の栽培体験とかをさせていただいております。この会議を通して学べることを生かしていきたいなと思います。以上です。 市保育施設課の遠藤と申します。保育施設課という名前ですが、実際何をしているかという保育所の認可確認であったり児童館等も管理しているんですけども、その中の事業の一つとして学童クラブの管理担当をしております。その中で多くの学童クラブでは庭とかがあるところでは野菜作りを子ども達がしており、例えばヘチマや南瓜・胡瓜を、実際に自分たちで栽培し、そこで食育を行っていくというところなんです。できた野菜は補助食おやつとして提供したり、自宅に持って帰って学童で野菜を作ったんだよっていう、楽しみというところで一緒に学んでおります。 また保護者さんから種をいただいてその種をまいて、保護者さんとも一緒に野菜作りをしております。今日皆様の取り組みも伺いして、また違う角度からいろいろできるのかなと思っております。ぜひよろしく願いいたします。
地域共生推進課 塚本	地域共生推進課と書いてありますが、和光市社会福祉協議会の塚本と申します。市内には地区社会福祉協議会とか小学校区ごとにありまして、現在9校が全てあるんですが、そのうちの5ヶ所で子供食堂が開催されています。主に毎月1回か週1回やるのは大変なので、夏休みや冬休みの長期休暇を利用した開催が多く、この近くだと先ほどお話にもあった、わびあでのわびあ食堂は昨年の2月にやって80名定員でしたが、開催の10分前に80名以上を超え、子供食堂として需要がすごく高いと思います。あと先ほどご説明のあった和光研友会さん皆さんの寄付で、このワークショップでいただきましてありがとうございました。 また別の事業では3月24日に南公民館にてスーパー公民館ディスコという子供・高齢者・障害者・外国籍の方、誰でも音楽がかかっているから踊ろう、ということで今日出席されている明治安田生命さんや、主催されている健康増進センターさんたちでベジタブルチェックとか、健康のアンケートなどをしていただき、その甲斐あって250人ぐらいの参加があり、その日その界限を揺るがしたイベン

	トになり、ありがとうございます。 昨年の夏は子供の居場所ネットワーク会議というのをやりまして、子供食堂や、学習支援、子供の居場所に関わる民間の団体が現在 8 団体があるんですが、そこと市役所の子ども家庭支援課さん・産業支援課さん・社協のボランティアセンター・生活困窮のすたんどあっぷさんなどが横に連携しながら、子供たちの居場所を将来的に進めていくということで、その中でもすたんどあっぷさんではフードドライブを募集しているところです。地区社協でもいろいろドライブの物品を集めて、生活困窮者あるいは子供食堂などに配っているので、先ほどファミリーマートさんからのお話に協力できるのではと思ひまして、手を挙げさせていただきました。
子ども家庭支援課 日野	よろしくおひひします。こども家庭支援課保健師の日野と申します。子ども家庭支援課では市内の子供食堂ですとかフードパントリー事業を実施している団体の把握をしまして、実際に支援を必要とするお子さんのいるご家庭へ情報提供させていただいてます。子ども家庭支援課から直接情報提供するのは年に数件程度になっておりますが、他団体からも情報提供もあり、もっと多いかと思ひます。それから先ほど地域共生推進課さんからお話ありましたが、子どもの居場所情報共有として、様々な団体さんと情報共有させていただいておりまして、今まで3回やっております大体3ヶ月に1回ぐらいさせていただいております。以上です。
産業支援課 内藤	産業支援課の内藤です。4月1日から農業担当の方に異動になりましたまだいろいろ勉強中でわからないと思ひますが、以前は福祉関係にございましたので、そこで関係のあった方もちらほらいらっしゃいます。また何かご協力できることとかがありましたらぜひおひひします。
平原	和光市の農地も減少傾向にありまして、なかなかそれを食い止めるのは難しいところではありますが、今の状況を維持できるように農家さんのモチベーションを上げたりとか、活気づけられるようなことに繋げられたらいいなと考えてます。食育に関しては、先月6月15日と29日に収穫体験を行い、延べで285人が参加して、大変な人気でなかなかキャンセルが出ずに、できなかった方もいらっしゃいます。ただやっぱり人数に合わせてトウモロコシを作ったり収穫時期を合わせたりするっていうのもなかなか大変で、今後も農家さんと協力していただきながら進めていきたいと思ひます。 皆様お話をたくさんのお取り組みを教へていただき、ありがとうございます。コンソーシアムでは、構成員様同士の食育のマッチング

を活発に行っていきたいと考えております。

また健康増進センターの方では例年健康フェアという形で毎年 1 回健康に関するお祭りを行っていましたが、今年度からお届け健康フェアという形で、待っているのではなく、こちらから行く、という形で、いつでもどこでも健康にいいということをテーマに、ご依頼の際は、こちらから伺うという形に変えております。

その中で先ほどぜひうちの方で健康測定会をやりたいなというお話もありましたが、そういったマッチングなどもご依頼がありましたら調整させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

残りの時間は少なくなってきましたが、皆様のテーブルの中央に講座案内が置いてあります。今年 11 月に予定している情報共有会でマッチングや、食育を盛り上げるには、こういった取り組みが良いのではという案を出していただく会を企画しております。去年は防災をテーマに防災危機管理監の、防災の講和と情報共有会を行いました。

今年度に関しては、明治安田生命さんの方で講座を開催されているので、この講座案内の中から皆様に、受講したいものをお伺いして決めていきたいと思っていますがいかがでしょうか？いったん内容を見ていただいて、気になるものに丸をつけていただき、あと残りの時間でマッチングのご希望のお話もありましたので、皆様ぜひ歓談していただければと思います。3 時を予定しており過ぎてしまいますが、10 分ほどお願いできればと思います。

(話し合い)

時間の方もありますので、最後に皆さん丸のつけ忘れはないようにしてください。

アンケートですが、後ほどメールアドレスの方にも送りますので、こんな取り組みしてみたい、ぜひこことマッチングしたいというご要望がありましたら書いていただきたいと思っております。本日はお忙しい中お越しいただきまして、誠にありがとうございました。